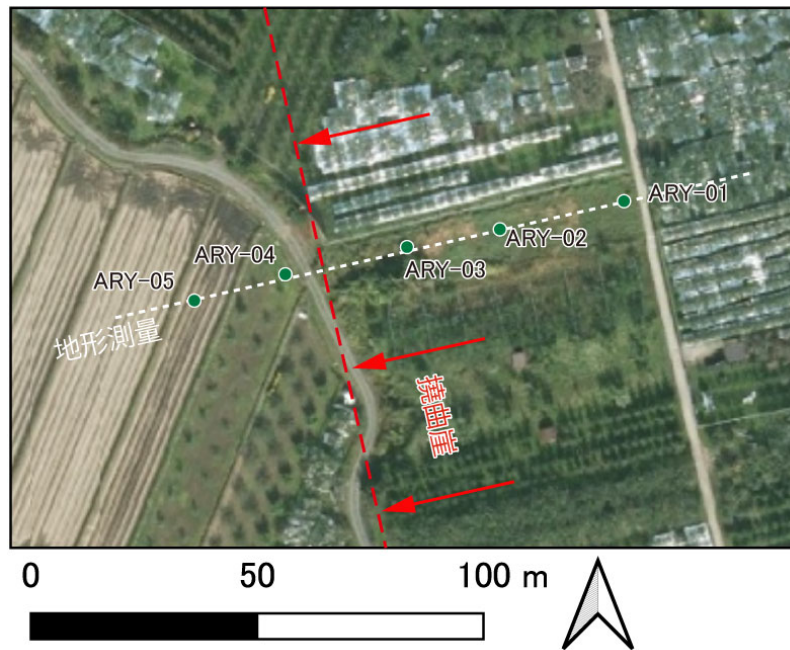


3.1 津軽山地西縁断層帯（南部）の調査

青森県平川市新屋地区において低位段丘面の撓曲崖を直交するように掘削深度 10 m のボーリングを 5 孔掘削した。結果、地形面は十和田八戸火砕流堆積物に覆われており、その基底面に約 1.9 m の上下変位が認められた。地質構造と堆積年代から約 11~16 ka 以降の累積変位量と考えられることから平均上下変位速度は約 0.12~0.17 mm/yr と推定された。

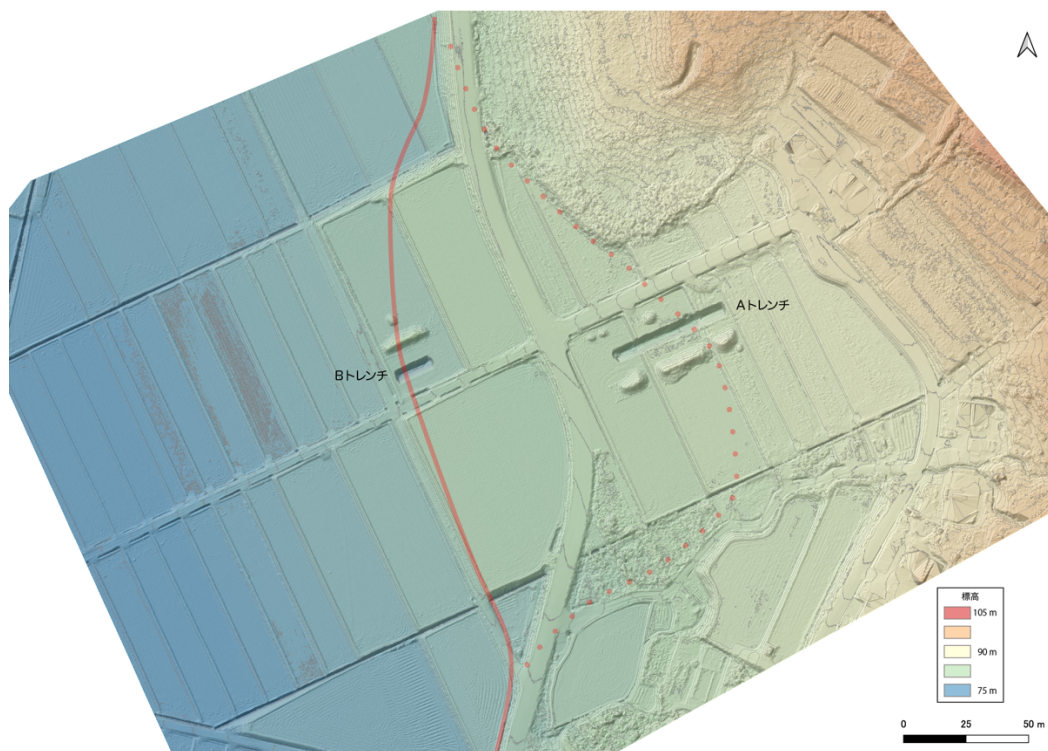


群列ボーリング位置図



平川市新屋地区における群列ボーリング掘削の様子

3. 2 横手盆地東縁断層帯（南部）の調査

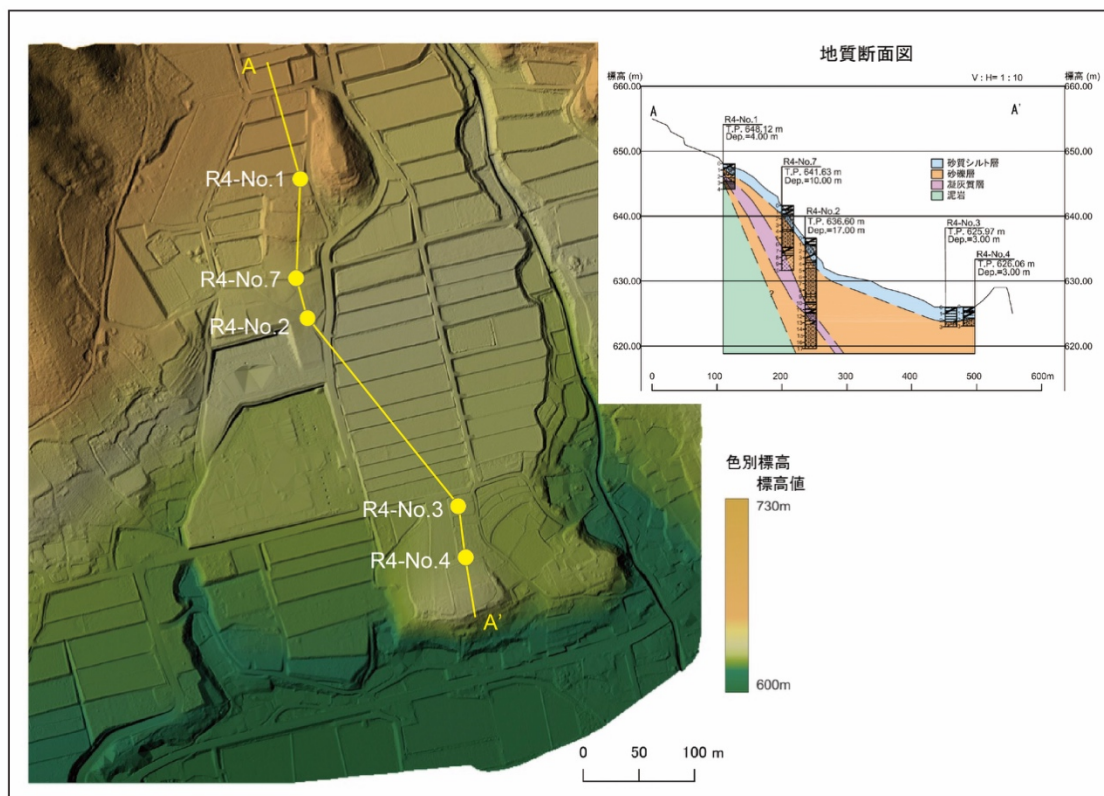


美郷町上四天地地区におけるドローン LiDAR に基づく 0.1mDEM。赤線は活断層及び撓曲崖の基部、赤破線は伏在断層を示す。



美郷町上四天地地区におけるトレンチ調査。写真はBトレンチ南壁面。西側低下の撓曲変形が確認された。

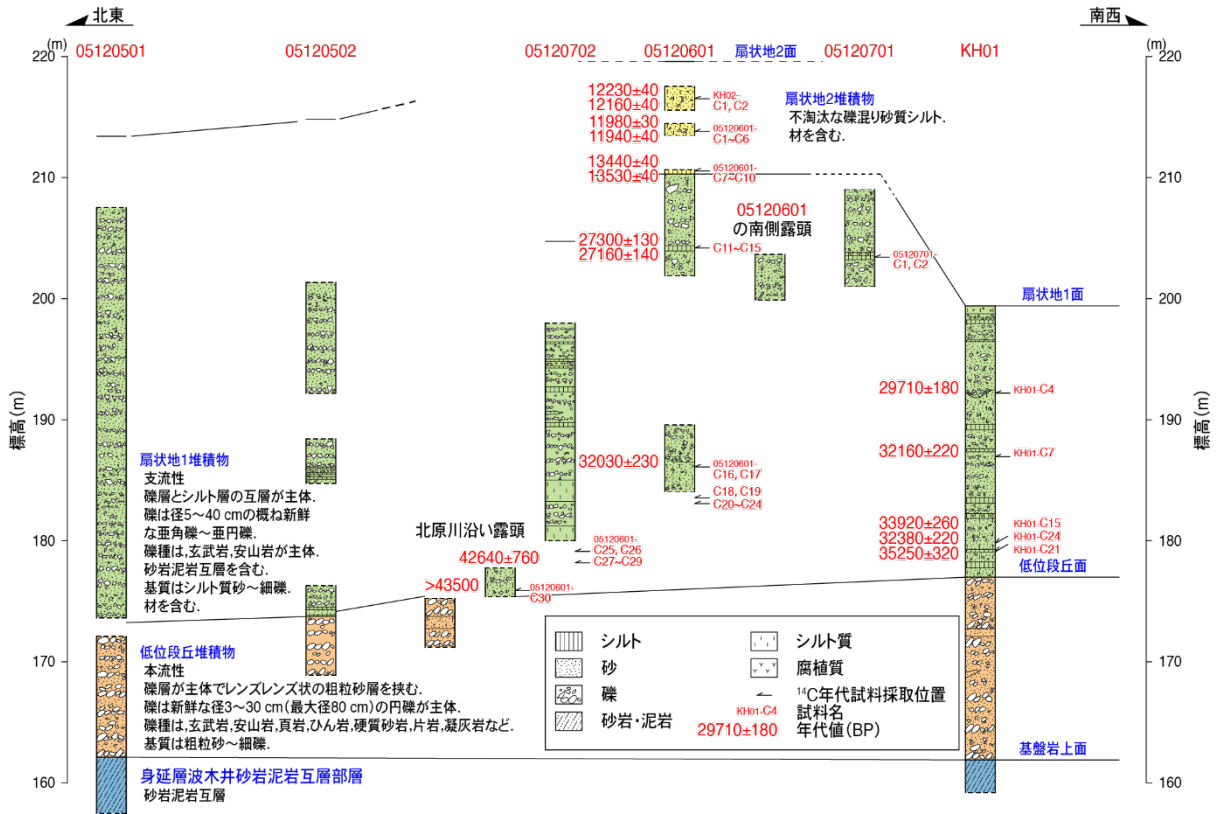
3. 3 長野盆地西縁断層帯（麻績区間）の調査



長野盆地西縁断層帯（麻績区間）下井堀地区で実施したボーリング調査

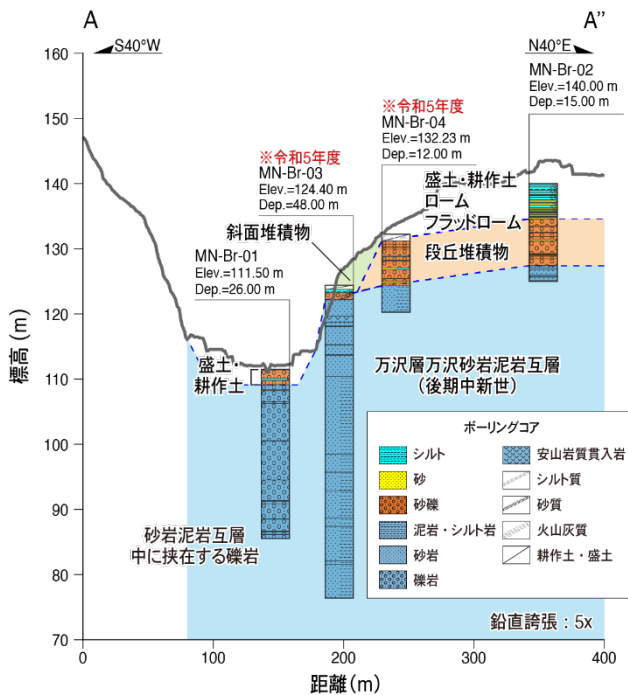
長野盆地西縁断層帯（麻績区間）の平均変位速度等を明らかにするため、下井堀地区（東筑摩郡麻績村）において、UAV を用いた航空レーザー測量とボーリング調査を実施した。R4-No.2 と R4-No.7 では段丘構成層中に凝灰質シルトが確認された。

3. 4 身延断層の調査



山梨県南巨摩郡南部町中野北原地区の地質柱状図

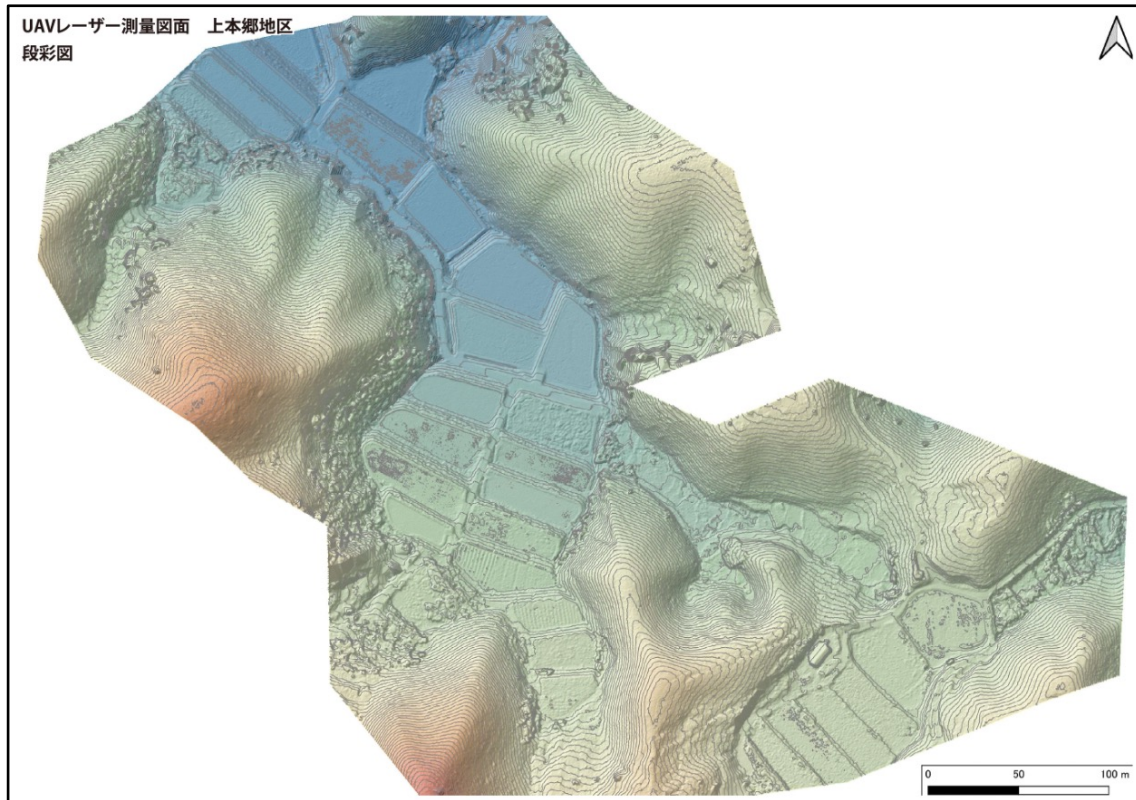
詳細な地質踏査を行い、各地層の分布高度を把握した。堆積物中から採取された材化石等について放射性炭素年代測定を行い、各地形面の形成年代を推定した。これらに基づいて、同地区の身延断層の活動性を検討した。



山梨県南巨摩郡南部町万沢地区の地質断面図

令和4年度に実施したボーリング調査を補完するため、新たに2孔のボーリングを掘削し、同地区における活断層としての身延断層の存否を検討した。

3. 5 屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯（赤河断層帯）の調査

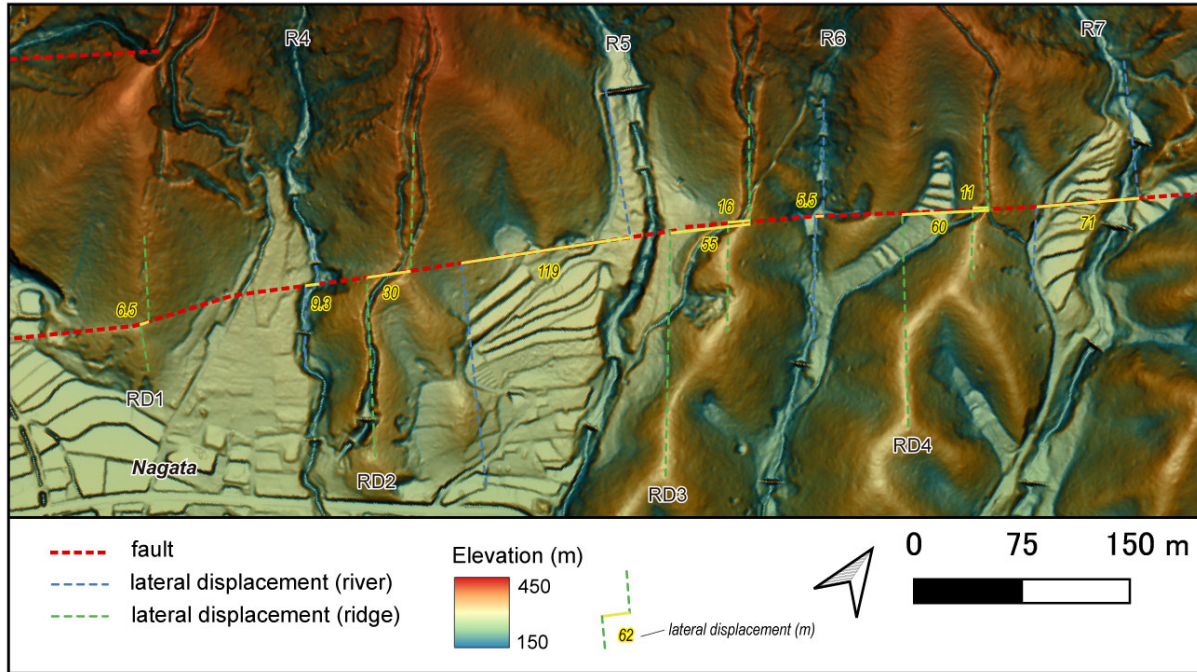


赤河断層帯南東部（恵那市長島町久須見）上本郷地区における断層変位地形を示す段彩陰影図

屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯（赤河断層帯）は南西側隆起を示す活断層であるとともに、左横ずれ成分を伴うことが知られている。水系の左横ずれ屈曲が顕著な地形を詳細に検討するため、UAVを用いたレーザー測量によって詳細地形データを作成した。この地点には高压線が通っているため、北部と南部に分けて計測を実施し、それらのデータと統合して、対象地域全体の詳細地形データを作成した。

3. 6 筒賀断層の調査

筒賀断層中央部において、航空レーザー測量を実施し、地形判読を行った。その結果、河川や尾根に最小値で約 5.5 m、最大値で 130 m 程度の右横ずれが認められた。令和 6 年度の分析へ向けて 6 地点において宇宙線生成核種分析のための試料採取を実施した。

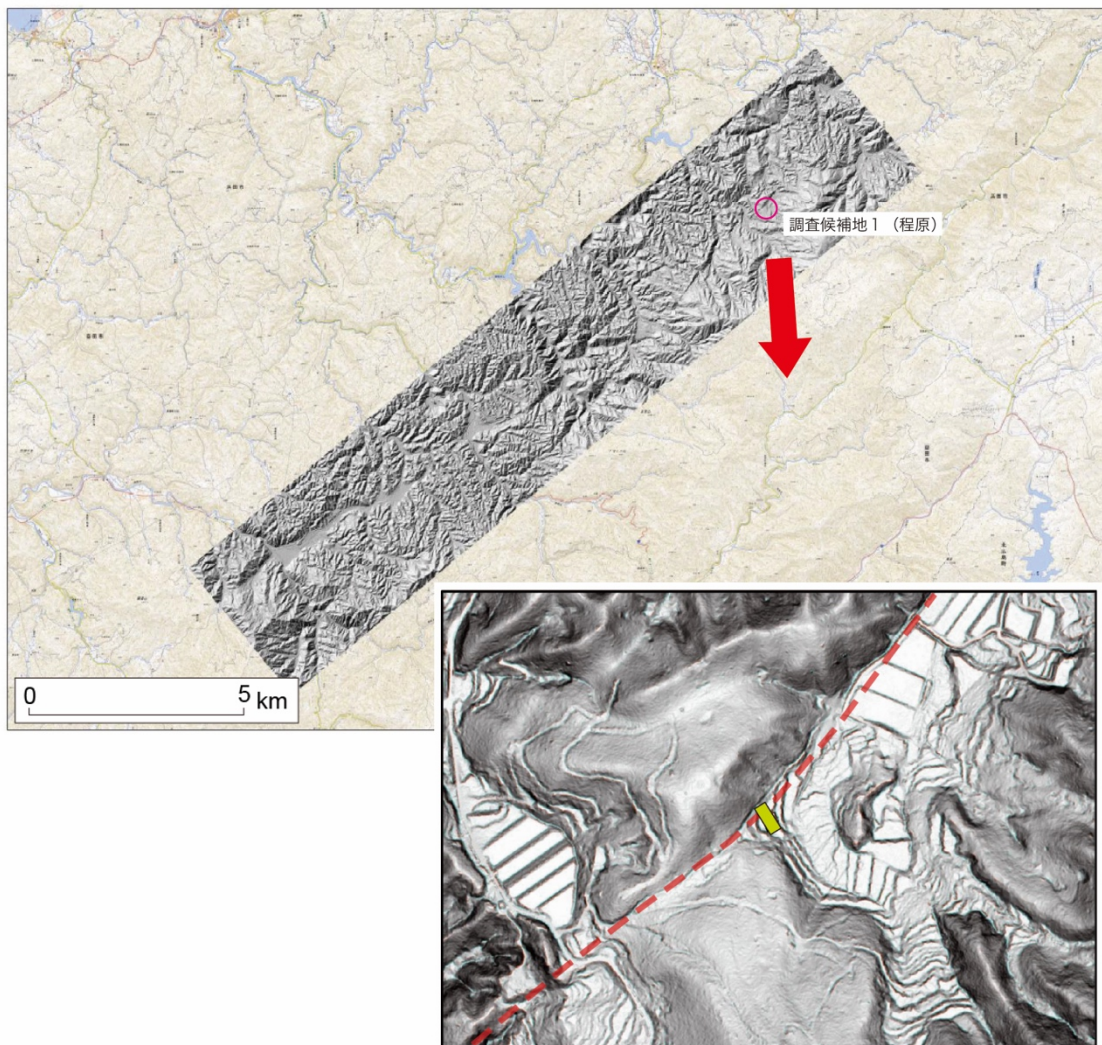


広島県安芸太田町上殿地区周辺の詳細地形図と断層変位地形の判読結果



堆積物（巨礫）の試料採取状況

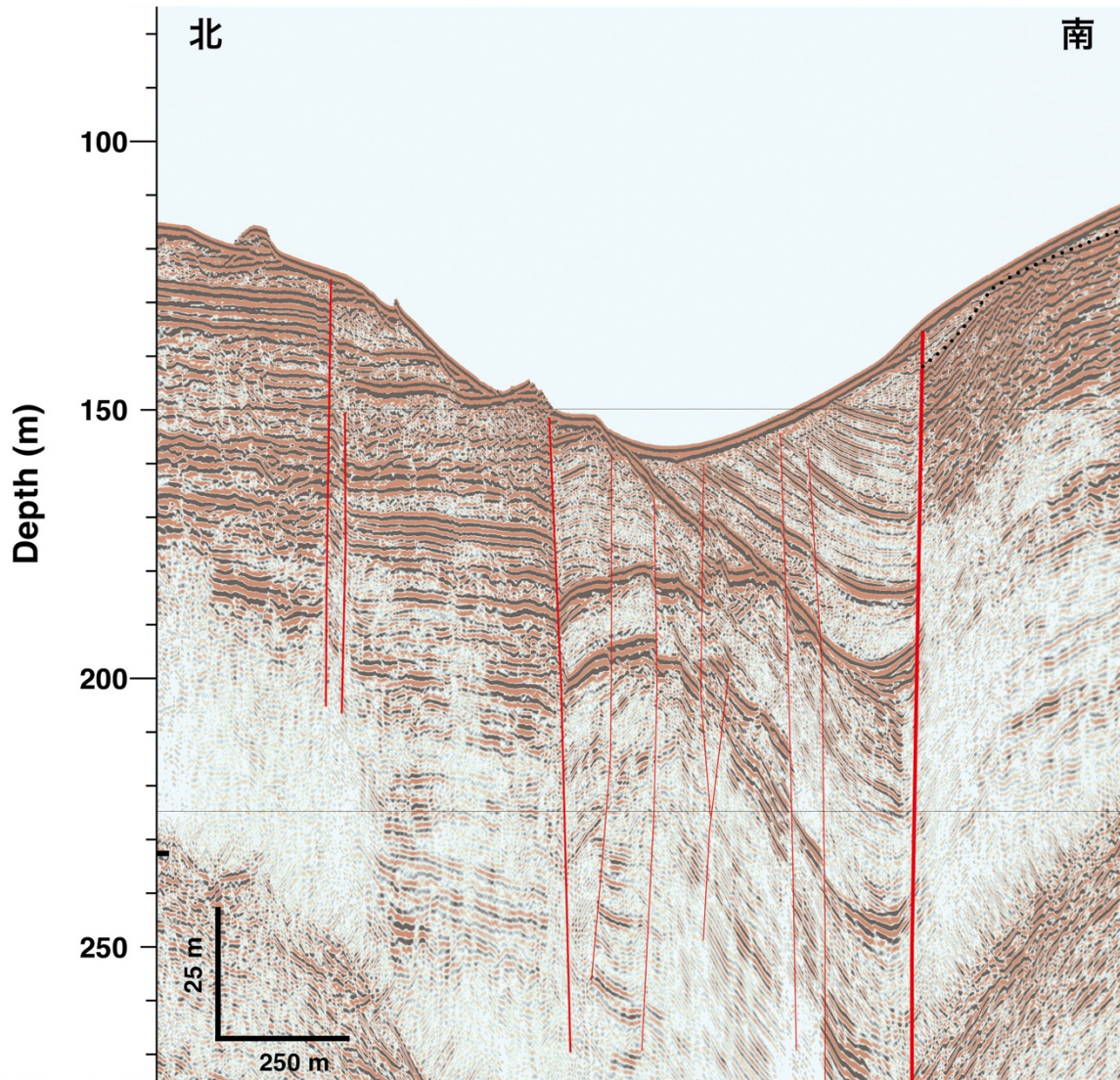
3. 7 弥栄断層の調査



弥栄断層で実施した航空レーザー測量と調査候補地の検討

弥栄断層（島根県）の過去の活動に関するデータを充実させるため、弥栄断層の北半部において航空レーザー測量を実施した。作成したデジタル標高モデルを用いて地形陰影図等を作成し、来年度にトレンチ調査等を実施する調査候補地を検討した。

3. 8 布田川断層帯の調査



高分解能音波探査による島原湾南西部の海釜を横断する海底活断層の断面（D303 測線）

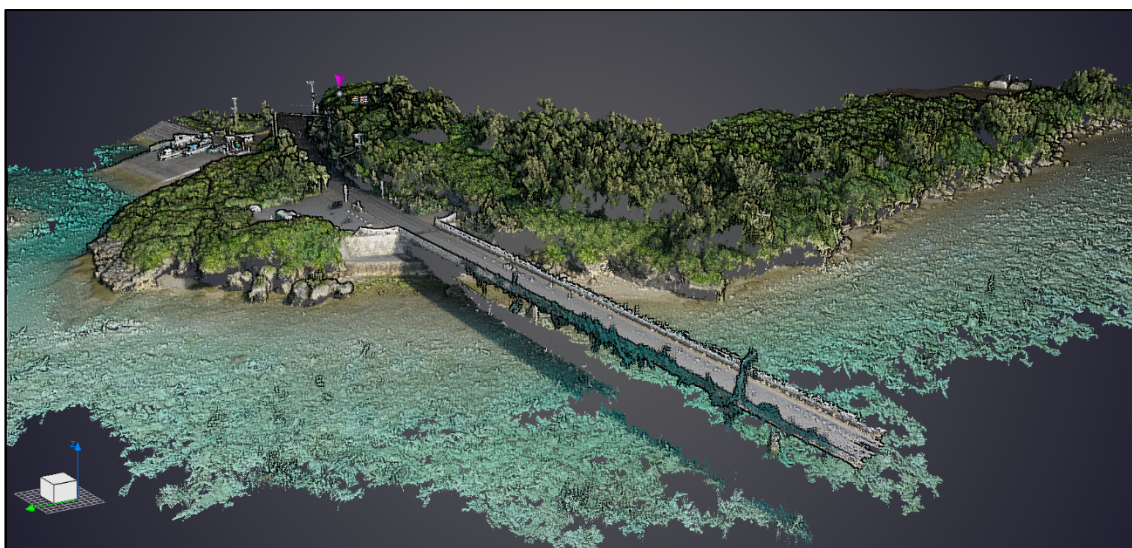
島原湾南西部に延びる布田川断層帯宇土半島北岸区間の南西延長部を構成する海底活断層の位置・端点位置を検討した。P波の伝播速度を1,500 m/sと仮定して深度を概算。

3.9 宮古島断層帯の調査

ボーリング・トレンチ調査を含む地形地質調査を実施した。その結果、トレンチ掘削箇所において少なくとも1回の断層活動が生じたことが明らかとなった。また、宮古島沿岸部に隆起海岸地形が認められ、地上レーザー測量を含む地形計測と年代測定試料の採取を実施した。



宮古島平良久貝地区において掘削したトレンチ



伊良部大橋周辺において実施したレーザー測量結果